

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個15事07

政策名	3 夢のふくらむ港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 振興課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7835
個別施策名	15 効果的な港のPR活動をする						
事務事業名	07 客船誘致の推進		継続	維持	維持		
目的	県市民の客船への親しみを深めるとともに、港の賑わいを創出します。					事業 期間	平成6年度～継続
概要	名古屋港へ客船が来るよう誘致します。					根拠 法令等	
						実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	邦船社を対象に船内見学会を実施していきます。					関連 シート	



2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果	客船「飛鳥2」を対象に船内見学会を実施しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	0	0	0	0	0	(款項目節)
一般会計	千円	0	0	0	0	0	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	7,016	6,866	6,785	6,896	6,973	(その他) 客船見学会実施時に、岸壁使用料を減免していま す。平成24年度実績502,548円
正規職員	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	7,016	6,866	6,785	6,896	6,973	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
客船見学会の開催 数(件)	目標	-	3	3	3	3		3	
	実績	3	3	4	2	1			
	達成率(単年度%)	-	100.0	133.3	66.7	33.3			
	達成率(累積%)	-	-	-	-	-			
客船入港隻数(隻)	目標	-	35	35	35	35		35	
	実績	35	30	30	29	40			
	達成率(単年度%)	-	85.7	85.7	82.9	114.3			
	達成率(累積%)	-	-	-	-	-			
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必 要 性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						毎回定員を上回る応募があり、一般県市民に客船への関心を高めるのに効果的な事業です。実施には、港湾管理者と船会社等の関係者が一体となった取組みが必要です。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	本組が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
有 効 性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						日本籍運航者による各1回を目標とし、実施回数は、運航者の都合により変動はあるものの概ね目標を達成しています。運航者とは協力的な関係を築いています。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
効 率 性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						直接的な支出を抑え、実施の際は、多くの運航者クルーの協力を得ています。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			目標値を満たしているため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
今後も船内見学及び寄港回数目標値を満たすよう、運航会社への協力要請、寄港要請を行っていきます。				